

OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

発行：関西学生サッカー連盟
2009年5月5日発行 第4号

JUFA Kansai

第87回関西学生サッカーリーグ
2009年5月5日(火・祝) 6日(水・祝) 第5節

関西学生サッカーリーグ第5節



貴重な決勝点で勝利！今節 この笑顔はどのチームに！？

(写真：関学大)

Photo: UNN関西学生報道連盟

頂上決戦引き分け、下位校が巻き返した第4節から中2日。リーグは早くも5節を迎える。

現在12チーム中8チームが星五分で迎える今節。1勝が順位変動に与える影響は大きい。今節の戦いからも目が離せない。

■5月5日(火・祝) @高槻市立萩谷総合公園サッカー場

11:30 Kick off 関学大ー京産大

「GWの連戦で勝てれば上へける」とゲームキャプテンの関学大・志田野雄一朗。2連勝の勢いそのままに京産大との一戦に臨む。対するは勝点3差の京産大。古井浩之監督は「(第4節の関西大対ひび)力では完全に負けた。よく1失点で抑えきったなと思う」としながらも、「次の関学も難しい相手だが、関西大より攻撃の幅、厚みという点で戦えそう。勝つ」と強気の姿勢。熱い戦いになりそうだ。

14:00 Kick off 阪南大ー大院大

順当に勝ち星をつかめない阪南大・須佐徹太郎監督は、「カゼ、故障、出停と苦しいが、残ったメンバーでも十分戦える。イージーなミスで失点したが、もっと考えないと」と第4節の大教大戦を振り返る。「気持ちの切り替えだけ」(須佐監督)とメンタル面にゲキを飛ばし今日の試合に臨む。対する大院大・藤原義三監督は、「失点を最少にすることから始めなくては、しょうがない」とびわこ大戦での3失点の課題を口にした。連戦の中どれだけ守備を立て直せるか。

■5月5日(火・祝) @高槻市立総合スポーツセンター

11:30 Kick off 関西大ー大体大

関西大・島岡健太監督は、「個の力では十分。次第にまとまってきたがまだまだ。切り替えの瞬間とか」と、前節終了後、「相手がどこであろうと、一試合ごとに完成度を高めたい」(島岡監督)と語り大体大戦を迎える。その大体大はまた波に乗り切れぬが、「自分たちは心で成り立っている。それが折れないように」と松本良太主将。とキャプテンシーでチームを鼓舞する。

14:00 Kick off びわこ大ー立命大

「(立命大戦)力むことなく臨んでまいり。」とびわこ大・望月聡監督。現在3位のびわこ大が対するのは2位の立命大。その立命大は首位決戦となった前節、桃山大に終了間際ひびつされた。米田隆監督も「まずは切り替える事」で、心機一転びわこ大を叩きにゆく。どちらが上位対決を制するか。

■5月6日(水・祝) @高槻市立萩谷総合公園サッカー場

11:30 Kick off 桃山大ー大教大

首位を走る桃山大・松本直也監督は、劇的な展開が続くチームの「雰囲気大切に持ってゆきたい」と勢いの持続で短期の連戦を乗り越える意気込みだ。対する大教大は前節、「前半を0点で抑え、1点勝負に力けるウチのペースかな」と。三好、森原、佐藤が巧くからめばなんとかまる、と思っていた(入口豊監督)との言葉通り、貴重な勝ち星を挙げ首位を追うは勝点1。ともに馬力のよさで勝ちをものにしてきた両チーム。試合後に笑うのはどちらか。

14:00 Kick off 同 大ー大産大

怪我人が目立ち始めた同大。大森一樹主将は、「誰か出て、同じレベルのサッカーができるように」と選手層の厚さで乗り切る重要性を語った。4連敗と未だ白星がない大産大・櫛引実監督は、「同志社のアクションサッカーに対し、しっかり守っていきたい。」と意気込む。そろそろ勝ちがほしいところ。

関西大学 vs 京都産業大学

V候補筆頭の関西大が苦しんでいる。中盤でのボール奪取、変化のある展開、厚み…全ての点で京産大を圧倒しながら、最後の決めの点で決定的チャンスを逃し続けた。「より以上のプレーと結果を考えすぎて、最後の詰めでもろさが出てしまう」と島岡健太監督は、嘆いていたが、京産大のDF陣の粘っこさがあったにしても、関西大の攻撃陣は、なさけないの一語につきた。前半終了間際、ようやく②川野大介からのパスを受けたエース⑩金園英学がゴールに転がし込んで貴重な1点を手中にした。

先制してリズムに乗るかと思えた後半も、関西大は前半に増す決定的チャンスを得ながら、⑧藤澤典隆、⑦佐藤悠希、⑨西口大輔らのシュートがゴールマウス外に飛び最少得点差の辛勝に終わった。関西大は中盤の優位をいかに得点に結びつけるか、これからの大きなテーマになる。京産大はほとんどチャンスをにつれずじまいのゲームになったが、DF陣の体を張った粘っこさと、出足の鋭さで関西大の攻撃陣のミスを誘引したプレーは、これからのゲームでどう成長していくか楽しみである。

(文：関西学連)

関西大 1 - 0 京産大

5月2日(土) 11:30 kick off

@鶴見緑地球技場

◆得点◆

関西大 44分 17 金園 英学(20 川野 大介)

阪南大学 vs 大阪教育大学

阪南大 0 - 1 大教大

5月2日(土) 14:00 kick off

@鶴見緑地球技場

◆得点◆

大教大 64分 10 三好 洋央(11 佐藤 和馬)

阪南大はカゼ、故障でベストメンバーが組めない上に、前節の立命大戦でエースFW⑩木原正和がケガで途中退場、主将のMF⑭東浩史が一発レッドを食らって大きなダメージ。それでも昨年の雄の矜持のもと、DF②金泰弘、⑥井手口正昭、⑧長瀬圭佑のMF、加えて期待の新人MF 28 谷本泰基らでやりくりしてチームの建て直しを狙ったが、「11人の中で7人が欠けた」(須佐監督)状態では、強固なDFに支えられて、中盤とゴール前での強さを生かすバランスの取れた本来の阪南大サッカーを求めるのは酷というもの。どうしても1点が取れず、これで3連敗と苦しいリーグ前半戦になった。

布陣にくるしむ阪南大を横目に、大教大はチームの支柱・DF⑤大久保悟を出停で欠いたが、②林佑一郎、⑥山本翔太のCBがよくそのアナをカバーして、阪南大を防ぎきった。そして64分、「今、調子のいいMF⑩三好洋央、MF⑪佐藤和馬、FW⑨森原慎之佑がからめば1点を取れるかも」(入口監督)の読みが的中。左サイドのDF④高垣淳司のクロスボールを佐藤がさばき、三好が貴重な決勝点を叩き込んだ。上位食いの大教大の今後が楽しみ。

(文：関西学連)

関西学院大学 vs 大阪産業大学

連戦中に上位に喰い込むため、関学大は連勝を掲げ試合へと臨む。対する大産大は3連敗と苦戦しており、そろそろ勝ち星が欲しいところ。前半立ち上がりは、「プラン通りだった」と大産大の櫛引実監督が話すように、関学大相手に大産大が試合のペースを握る。中盤でのインターセプトからリズムのよいパスをつなぎ、ゴール前へと運んだ。一方の関学大は、セットプレーから決定機を作り出し、少しずつペースを握り始める。

試合が動いたのは、両者0-0で迎えた後半4分。MF⑩阿部浩之の右サイドからのパスをMF⑧梶川諒太がゴール前中央で受け、ドリブルでペナルティエリア内へと持ち込む。梶川の右足から放たれたシュートは大産大のゴールネットを揺らした。このゴール後、完全に流れは関学大に。その後も阿部と梶川のコンビを中心に攻撃の手を緩めなかった関学大が、連戦のスタートを白星で飾った。

試合後、「勝負所、踏ん張りどころで相手が勝っていた」と櫛引監督は敗戦の要因を語った。関学大・DF④志田野雄一朗は「いい形でゴールデンウィークには入れたかな」と勝利を振り返った。

(文：UNN関西学生報道連盟 寺島 琴美)

関学大 1 - 0 大産大

5月2日(土) 11:30 kick off

@山城総合運動公園太陽が丘陸上競技場

◆得点◆

関学大 49分 18 梶川 諒太(19 阿部 浩之)

第87回関西学生サッカーリーグ GAME RESULT 5月2日(土) 第4節



びわこ成蹊スポーツ大学 vs 大阪学院大学

前節ロスタイムに失点し黒星を喫したびわこ大と2連勝中と好調をキープする大院大との一戦。びわこ大は4位、大院大は3位に位置するだけに、順位を上げるためにもどちらも勝利が欲しい試合。

まず口火を切ったのはびわこ大。11分、MF⑬平野甲斐のボールにFW 30 原ノ園大将が頭でびたりと合わせる。大院大も負けずと5分後、CKからFW⑨岡村和哉のどんぴしゃヘッドで試合を振り出しへと戻した。その後、両チームとも1ゴールずつを挙げ、2-2で前半を折り返し後半へ。

大院大は岡村を中心にカウンターからのスピードに乗った攻撃でびわこ大ゴールへと襲いかかる。対するびわこ大は、前節と同様に交代カードを切り平野を前線へと上げ、勝ち越しゴールを狙う。だが、両者ともなかなかゴールが生まれず、引き分けの雰囲気漂う。そんな試合に、試合終了間際の平野のシュートが終止符を打った。

「どんな相手であろうと、3失点はあかん」と大院大・藤原義三監督は、守備面での課題を口にした。びわこ大・望月聡監督は、「選手が体を張って頑張ってくれた。」と勝ち点3を手に入れた選手たちの頑張りを称えた。

(文：UNN関西学生報道連盟 寺島 琴美)

びわこ大 大学大

3 - 2

5月2日(土) 14:00 kick off

@ 山城総合運動公園太陽が丘陸上競技場

◆得点◆

びわこ大 11分 30 原ノ園 大将(13 平野 甲斐)

大院大 16分 9 岡村 和哉(16 小湊 貴裕)

びわこ大 23分 5 内野 貴志(14 岡野 雅俊)

大院大 44分 14 平岡 大毅(53 四ヶ浦 寛康)

びわこ大 86分 13 平野 甲斐(15 浅津 知大)

桃山大 立命大

1 - 1

5月2日(土) 11:30 kick off

@ 西京極総合運動公園補助競技場

◆得点◆

立命大 74分 24 加藤 恒平

桃山大 87分 36 中東 優台(11 斉藤 達也)

開幕スタートダッシュに成功した両チームの対戦。ただ、立命大の米田隆監督は「慢心に繋がらないよう、リセット」と気持ちを引き締め直して試合に臨み重要性を語った。

試合の前半は、互いに非常に慎重だった。極端に守備的だったわけではないが、「相手の攻撃の長所を警戒したい」(桃山大・松本直也監督)という気持ちもあり、互いのDF陣が声を出し、集中力の高さを維持し続けた。桃山大は決定機はあつたが、立命大にもルーズボールを何とか押し込むチャンスがあった程度。

張り詰めた空気のまま後半へ。ここで両監督の切ったカードが奏功する。74分には、交代出場で入った立命大MF 24加藤恒平が個人技を披露。ボールを受けてから小刻みなステップで、相手DFをかわしてゆく。一瞬、シュートコースが見えた瞬間に、右足を振り抜く。低い弾道のシュートはゴール角に突き刺さり、先制点をもたらす。

しかし、桃山大も交代選手が仕事をやる。87分、立命大ゴール前で浮いたボールに両チームの選手が喰らいつき、ヘディングの応酬が何度か続いた後、FW 36中東優台は、ヘディングの選択をせず、厳しい角度からダイレクトボレーで叩く。ジャストミートされたボールは豪快にゴールを揺する。美しいゴールの応酬で、首位決戦は同点で終えた。

(文：サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

同志社大学 vs 大阪体育大学

攻撃的サッカーを披露しながらも、白星が積み重ならない両チーム。課題は守備面にあるという認識から、同大・望月慎之監督は「ボールを失った後の対処」、大体大・松本良太主将は「チーム全体としていかに守りの意識を統一できるか」を1つのテーマに試合に入った。

電光石火の先制点だった。1分も経たないうちに、大体大陣内に突っ込んだ同大左SB②林佳祐が角度の無い所から強引にシュート。これが相手に当たりコースが変わりゴールマウスへ。記録は林の先制点。これで同大は幾分、落ち着いてゲームを進める。何度かあったピンチも守護神・①川原隆広とCBコンビ③安川有と26佐川雅也が弾き返す。耐えた同大は、53分、彼ららしいゴールで追加点。中盤からショートパスを細かく繋ぎ、最後は、FW 22 市川俊治朗が上手く合わせる。83分にも、カウンターからFW 28 辻智人、MF⑦楠神順平と繋ぎ、最後はFW⑬松田純也が冷静に押し込んだ。

決定機をすべて活かした同大は、終了間際に大体大MF⑨松本良太のミドルシュートで失点をしたものの、鮮やかに逃げ切った。大体大は、多くのチャンスを掴んだだけに、早い段階で点を返しておきたかったが、最後に詰め切れなかった。

(文：サッカーライター ハヤシ ヒロヒサ)

同大 大体大

3 - 1

5月2日(土) 14:00 kick off

@ 西京極総合運動公園補助競技場

◆得点◆

同大 1分 2 林佳祐(37 杉山 和毅)

同大 53分 22 市川俊治朗

(37 杉山 和毅・9 角島 康介)

同大 83分 13 松田 純也

(7 楠神 順平・28 辻 智人)

大体大 89分 9 松本 良太(28 朴 治宣)